

平成二十八年年度 第五十六期生

合格体験記

熊本学園大学付属高等学校 進路指導部

発刊に寄せて 進路部長 岡田 公治

【私立大学】

【指定校推薦】

○慶應義塾大学 商学部 M・I

○日本大学 理工学部 海洋建築工学科 S・N

○早稲田大学 人間科学部 人間情報科学科 M・N

【公募推薦】

○駒澤大学 仏教学部 仏教学科 E・O

○熊本保健科学大学 保健科学部 リハビリテーション学科 S・S

生活機能療法専攻 S・S

【一般入試】

○明治大学 情報コミュニケーション学部 A・S

情報コミュニケーション学科 A・S

○西南学院大学 商学部 商学科 Y・S

【国公立大学】

【AO・推薦I・推薦II】

○東京学芸大学 教育学部 初等教育教員養成課程 T・H

○佐賀大学 理工学部 電気電子工学科 Y・T

○熊本大学 工学部 グローバルリーダーコース K・S

○熊本大学 工学部 機械システム工学科 A・H

○熊本大学 教育学部 特別支援教育教員養成課程 K・I

○熊本大学 医学部 医学科 A・M

○北九州市立大学 地域創生学群 K・H

【前期日程】

○信州大学 経法学部 応用経済学科 M・S

○大阪大学 医学部 保健科学看護学専攻 M・O

○広島大学 法学部 法学科 R・N

○広島大学 工学部 第二類 T・O

○九州大学 工学部 気情報工学科 T・Y

○九州大学 工学部 物質科学工学科 Y・N

○九州大学 農学部 生物資源環境学科 S・K

○九州工業大学 情報工学部 システム創成情報工学科 N・U

○福岡教育大学 教育学部 初等教育教員養成課程 S・M

○福岡教育大学 教育学部 初等教育教員養成課程 N・M

○佐賀大学 芸術地域デザイン学部 芸術地域デザイン・芸術表現学科 J・Y

○長崎大学 医学部 保健学科看護学専攻 K・O

○熊本大学 文学部 総合人間学科 H・O

○熊本大学 教育学部 小学校教員養成課程 R・H

○大分大学 教育学部 学校教育教員養成過程 M・O

○鹿児島大学 工学部 化学生命工学科 A・T

○神戸市立看護大学 看護学部 M・K

2017 合格体験記

○熊本県立大学 環境共生学部 環境資源学科
 ○熊本県立大学 総合管理学部 総合管理学科
 E K
 T F

【後期日程】

○九州工業大学 工学部
 ○長崎大学 多文化社会学部 他文化社会学科
 ○熊本県立大学 総合管理学部 総合管理学科
 ○熊本県立大学 総合管理学部 総合管理学科
 K F Y S
 K S M N

【専門学校】

○国立病院機構熊本医療センター附属看護学校
 ○九州中央リハビリテーション学院 作業療法学科
 C S
 I M

【就職】

○九州電力株式会社
 M S

編集後記

合格体験記発刊に寄せて

進路部長 岡田 公治

平成二十八年四月十四・十六日と震度7の大地震が起こり、一連の地震活動は減衰しつつも、なお活動は継続しております。そのような未曾有の状況を経験しながらも、自分の未来を考えなければならなかった五十六期生諸君は、進路決定をするにあたっては、さぞかし大変だった事でしょう。後輩への「道標」としての「合格体験記」執筆を依頼するにあたり、五十六期生諸君が、「後輩のためにになるのであれば」と、その依頼を快く引き受けていただいていたことには、母校や後輩へ対する思いやりとして、その意義を十二分に受けて止めております。五十六期生の健闘を賞賛し、感謝の意を表します。

これから受験期を迎える在校生諸君！現代社会は成長社会から成熟社会へと移り、その流れと変化がとも早い時代となってきました。今後の世の中では、その多くの仕事がAIへと置き換わるとも言われている中で、人間でしかできないことを模索して行かなくてはなりません。

しかし、人間でしかできない出来ない仕事って、必ずあります！大切なことは、他者を認め、協動的にチームとして対応することが重要なのです。そう、「仲間」です。チーム力はAIに勝てます。また、多様化する社会に対して、大学入試も多様化の流れとなって来ています。五十六期生の先輩が多様な入試を経験していることから納得できるのではないのでしょうか。これまでの入試は知識重視型（知識の資本主義）で、これからの入試は知識運用型（知恵の創造主義）とも言

えるわけで、そこで必要とされるものとは、やはり、チーム力です。

チーム力の高い集団：

一人を救うことの出来る集団は、二人を救います。

二人を救うことが出来る集団は、三人を救います。

四人目は、あなたかも知れません。

チーム（仲間）って、絶対に強いんです！

チーム力の高い集団は、進路決定に対しても、とても高い結果となります。チーム学付：学年を越えて、また、生徒と教師の枠も取っ払って、付属高校全体でチームを形成しましょう！

中国のことわざ：

ある人に魚を一匹与えれば、一日食べる。

魚の捕り方を教えれば、その人は一生を通して食べる。

意識して欲しいことは：主体的な学習！！

私たち教職員は、みんなと供に、師弟同行のもと、魚は与えません。チーム学付のメンバーとして、一緒に魚の釣り方を学びましょう。自分で設定した大きな魚を捕まえるために。

最後に、自分軸をぶらさずに一生懸命に歩んだ五十六期生の「合格体験記が」が後輩達へと渡される糧として受けつがれ、後輩達の進路実現への「道標」となることを期待して……

自分らしく

慶應義塾大学 商学部 M・I

私は指定校推薦でこの大学に合格した。試験内容は志望理由書と小論文の提出だけだったが、定期考査の自分の勉強方法なども紹介したいと思う。

私は、高一の時点ではまだ進路が決まっていなかった。そのこともあって、行きたいと思える大学が見つかったときにチャレンジできる学力を維持しておきたいという思いがあった。自分の成績をはかるうえで一番わかりやすいのは定期考査だと思ったので、毎回の定期考査には全力で挑んだ。ここで、私の勉強方法をいくつか挙げてみたい。まずは、ストレス発散になるような好きなことを見つけ、毎日を忙しくすることだ。私の場合は習い事をほぼ毎日していた。時間がたくさんあって、いくら勉強するぞと意気込んだところで、そんなに集中力が続くわけではない。実際に勉強時間がじつくりとれるときよりも、習い事などで勉強時間が制限されているときのほうが定期考査の成績がよかったように感じている。もちろん時間がないという理由であきらめてしまえばそれまでだが、限られた時間の中で何ができるかを考え、集中して取り組めば、適度な緊張感が生まれ、長時間ならだと勉強しているより効率的に暗記や理解ができると思う。

次に私が受験対策も兼ねてしていたのは、添削指導だ。添削を有効に使えば、塾に行かなくても十分に受験対策はできると思う。私は英語と日本史の添削をしていた。何から勉強したらいいかわからない時に自分の苦手分野を知ることがで

きたり、基礎の見直しが出来たり、先生に質問しやすい環境になったりということばかりだ。先生に解説してもらったことにより深く理解することができ、さらに違う視点から考えてみることもできた。このことから添削指導を受けることをおすすめしたい。

そして私が失敗したと思ったことは、入試で課された小論文のことだ。もっとたくさんの本を読んでおくべきだった。そうすれば語彙力が増え、文章を組み立てる力も今よりも格段に上だっただろうと後悔している。読書時間が少なかった私はいへん苦労した。読書は小論文だけでなく、国語の対策にもつながるので受験勉強で忙しくなる前にたくさんしてほしいと思う。

最後にこれから受験という皆さん、受験勉強は苦しい時もあると思うが、自分なりの勉強方法や息抜きの仕方を考え、友達と支えあいながらあきらめずに最後まで頑張ってほしい。

「君が一年後に後悔しないために」

日本大学 理工学部 海洋建築工学科 S・N

指定校推薦で進路を決めた僕に、担任の先生から合格体験記を書いてと言われたときは正直何を書いていいか分からなかった。「自分よりもっと努力した人たちを選んでほしかった」と何度も思いながら、僕に伝えられることは何だろうと考えた結果、高校三年生を経験した身として「やっていてよかった、やってあげばよかった」と思ったことを書くことにした。

まず一番大切なものが毎日の授業だ。これだけは本当に真面目に受けてほしい。高校の先生方は全員が受験のプロであり、「聞いても意味がない」ということは絶対にあり得ないのだ。予習復習宿題、どれも先生の言うとおりに頑張ればきっと結果はついてくる。

次に模試のやり直しだ。承知の通り三年生には毎月恒例の行事だ。これを「受けて終わり」にせず、分からなかった箇所は自分の弱点としてすぐに克服できるようにしてほしい。ズルズル引きずってしまうと、次の模試でも同じミスを繰り返してしまう。僕はその被害者であり、初めの頃は「後で終わらせよう」とやり直しを嘗めていたせいで痛い目に遭ってしまった。僕と同じ失敗をすることは避けてほしい。

部活動生はこれから総体の時期になり、一番部活に熱が入る。受験勉強と部活の両立はやらねばいけない事が山積みだ。部活をする時間は部活を、勉強をする時間は勉強を、「今すべきことは何か」をハッキリさせてどちらも全力で頑張

張ってほしい。僕はそれを心がけたおかげでどちらもよい結果で高校生活を終えることができた。区切りをつけず、あれもこれもとやっていたら、両方とも不完全燃焼で終わってしまうかもしれない。そんなもつたいないことはしてほしくない。決して戻ることはない「高校生の時間」を大切に使うほしい。

最後に言いたいことは、自分の目標を立ててほしいということだ。そしてそれを書き出し、実践してほしい。どんなに小さいことでもいい。なかなか勉強が始められない人は「帰ったら必ず机に向かう」でもいい。その目標を達成したら次のステップの目標をどんどん立てていってほしい。達成すればするほどやる気は上がり、それらは必ず成功の糧になる。

このように受験本をめくれば出てくるようなありきたりのことしか書けなかったけれど、「身近な先輩が経験したこと」として、ほんの少しでもアドバイスとして受け取ってもらえると幸いです。

先輩たちの健闘を祈っています。頑張れ!!!

自分を信じるこ

早稲田大学 人間科学部 人間情報科学科 M・N

校内選考が終わり、早稲田大学の出願書類を持った時、初めて自分の手が震えている感覚を覚えた。私がこの三年間やつてきことは無駄じゃなかったと思った。私が高校生活で自分を信じて積み重ねてきたことをこの合格体験記を通して紹介したい。

私は、指定校推薦での受験だったのでとにかく定期テストでの成績が重視された。一年生の頃から、どこが出ても怖くないように全教科隅々まで勉強して臨んだ。二週間前から学習計画と各教科の目標点を細かく設定した。私は一日に複数の強化を勉強すると中途半端になってしまうと思い、一日一教科だけを徹底的に勉強した。計画を立てる中で特に配慮したのは、覚えることが多い歴史と苦手教科を時間のある休日や木曜日にはめ込むことだ。特に物理が苦手で、一年生の前期は赤点ギリギリの点数を取って、焦りを感じて後期のテスト前には研究ノートの練習問題を6周も7周もした。2年生になつてからは、数学に力を入れた。日頃から日勉や模試のやり直しを丁寧にした。テスト勉強をする時、苦手だった数学だけは音楽を聴きながら気分を上げながらひたすら練習問題を解いた。テスト前は主に図書館を利用してしたが、電車の中やお風呂で現代文の音読や単語を覚えていた。

しかし、定期テストだけを頑張っていればいいというわけではなく、やはり当たり前のことを当たり前にできることも大切だ。提出物の期日をきちんと出すなど、日頃から習慣づ

けることが

自分の中でも一番だ。平均点の下がる実力テストでも上を目指して必死に勉強したことと、提出物の期限を守り、課外にもきちんと出ていたことは強みになったと思っている。皆さんにも是非自分が集中できる勉強法と場所を見つけてストイックに励んでほしい。

また、私が指定校推薦を受験して良かったと思うことは、自分を追究し、大学のことをよく調べて様々な共通点を見出したことだ。センターの勉強や模試と並行しながら出願は大変だったが、「自分はこの大学で何を学びたいのか」「将来的にどうなりたいのか」など自分と対話する中で、答えがまとまっていき「この大学に行きたい！」と思う気持ちがあだんどん強くなった。推薦してくださった先生方や支えてくれた家族友達には大変感謝している。

受験生の一年間は色々なことに悩むと思うが、支え合つて、自分がやってきた事を信じて最後まで頑張つてほしい。皆さんがその手で勝利を掴むことを強く願っている。

本当にしたいこと

駒澤大学 仏教学部 仏教学科 E・O

「やはり僧侶になりたい！」

私は、高校三年七月下旬の三者面談で理系大学への進路先を決めてから二日後に、両親に自分の正直な気持ちを伝えました。私は、祖父や父のような僧侶になりたいと幼い頃から思っていた。しかし、兄が寺を継ぐ予定になっているため、私は僧侶以外の人生を歩まなければならぬと諦めていた。他になりたい職業があるわけでも無く、消去法で二年生から理系クラスを選択して来た。

志望校の願書を取り寄せる時期に「こんな選択で自分は後悔しないのか。」と私は遅ればせながら意を決した。両親は、初めは受験からの逃避でないか、あえて大変な道を歩む必要があるのか、と心配していたが、私の強い決心に賛成をしてくれた。

それからの私の行動は早かった。八月にオープンキャンパスに一人で東京まで行き、進路相談を行った。受験方法は、まずは推薦入試にチャレンジすることとした。駒澤大学は、一般推薦が二通りあり、私は評定では両方とも基準に達していたが、評定以外の資格も加算される方を選択した。

一次試験は、調査書と志望理由書の書類審査で十月末に出願し、十一月中旬に合格発表。志望理由書は、紫紺祭後、休む暇もなく先生に指導していただき何度も書き直した。内容は、自分が僧侶として目指す方向。僧侶の資格を取得するために大学卒業後は本山に修行に行くことを希望している。そ

の目標を達成するために大学で仏教の基礎知識を学び、更に仏教学部に併設されている僧堂の勉強ができる寮で生活しながら大学に通うことを考えている。私が高校三年間過ごした学付の大宗寮で得た友情や、寮監の原山先生の指導である「ちよつとの我慢と、他人への配慮」から学んできたことを具体的に例を挙げながら書き、大学の寮でも自分を成長させたいと締めくくった。

二次試験は、十一月下旬に面接による口頭試問。志望理由と、英語・国語・社会の問題を音読し回答をした。受験を変更してから日本史の勉強を開始したので仏教関連と時事問題に的を絞ってしかできず不安を抱えて臨んだ。問題は、予想を外れたが落ち着いて回答することはできた。それは、事前指導で面接学習を繰返した成果である。十二月上旬に合格発表。急な進路変更をしてから四か月、一気に走り抜けてきた感じがする。先生方や両親には、心配をかけたが、大学受験が自分の本当にしたいたいことをしっかりと見据える機会となった。

合格をつかみとる為に

熊本保健科学大学 保健科学部

リハビリテーション学科生活機能療法専攻 S・S

合格体験記に書かれる内容は一年生のころからコツコツ勉強していたなど手本となるようなことが適切だと思いますが、私のように生活している人もいると思うので素直にあつたことを書きます。

私は一年生のころに勉強をした記憶が全くありません。それでもこの人が合格できたのなら自分も大丈夫かと思わないうで下さい。悪い例です。二年生の前期終わり頃になって、苦手だった数学を一年生の所から総復習をし始めました。休み時間や自習時間を使い数II Bまでを十七日間で終わらせました。しかし、三週した所で止めてしまいました。結果、数学の点数はあまり上がりませんでした。

三年生になり、所属していた弓道部から県高校総体に出場させていただきました。結果、団体戦で優勝し、インターハイの出場権を得ることができました。インターハイが終わるのは八月でした。そして、私の受験は十一月に行われる予定でした。そこで、私がこの期間どのような勉強法で過ごして合格をつかんだのかを紹介したいと思います。

まず一つ目は、授業の内容を授業中に理解してしまえるように聞くことです。そして、部活が終わり家に帰り着いて寝るまでの時間に、その日の授業の内容を頭の中で総復習することです。そうすれば、部活で疲れて帰ってすぐに寝てしまつてもその日の授業内容は復習できていることになりま

そして一番大事なのは次の日の朝起きから学校に着く前までに前日と同じ総復習を頭の中ですることです。そうすることにより確実な定着につながります。

二つ目は、自分の受ける大学の過去問をできる限り集めて、何度も繰り返し解くことです。ちなみに私は受験日の一週間前までに八年分を十周しました。そして、ここで大事なことは、間違えた問題の分野を教科書に戻り総復習することです。そうすれば同系統の問題を間違えることがなくなります。

そして最後は、友達に自分の受験日を教えて、休み時間には勉強するように促してもらってください。そうすれば自分に甘えてサボることがなくなりま

す。この体験記をみて参考になることがあれば嬉しいですが、より良いのはコツコツ勉強しておくことです。一・二年生のみなさんも今から受験に向けてコツコツ勉強して下さい。応援しています。

大学受験を控える皆さんへ

明治大学 情報コミュニケーション学部 A・N

受験が終わり一か月以上経った今、もし一年前の自分に伝えられるとするならば何を伝えたいのか、また当時の自分はこの時期に何を知らなかったのかを中心にこの合格体験記を書きたいと思います。

私がこの時期に気にしていた一つに、塾に通うべきか否かということがありました。結果論になりますが、私の場合は塾に行かないで正解だったと思います。受験生に限らず一・二年生にも共通して言えることですが、授業と予習・復習を大切にしてください。勉強しようと思っても基本がなっていないければ時間の無駄です。本当の力が身に付かず、薄っぺらい知識だけ頭に入れて勉強した気になるだけです。またきちんとした土台があると、ワンランク上の知識も自分の知識として得ることができます。私は、予習の仕方や授業の受け方に自分なりの掟を作る方法をとり土台作りをしました。例えば古典の授業の予習なら、品詞分解や文訳を書くだけでは足りません。その話に関わる古文常識や文中で使われている古典文法を予め決めているメモスペースに書いておく、ここまですが古典の予習です。授業中も板書だけでは足りません。先生が口頭で伝えられた知識や要点を必要な部分だけメモを取りましょう。授業の流れが思い出しやすいので、復習がとてもしやすいです。

次に気にしていたことの一つに、赤本はどれだけの量を読むから始めるべきかということがありました。私大希望の人

は夏に第一志望の入試問題を一・二年分解いておくべきだと思います。本格的に始めるのは十月からで構いません。私はいよいよ先輩という先輩から直接お話を伺える機会があった際に、十年分解いたほうが良いということを知ったため、先生にお願いをしてセンター前は残って縦と横の知識を繋げる勉強会をしていただいたり、赤本の対策を練っていただきました。また経験談ですが、滑り止めの大学でも五・六年分の問題を解いておきましょう。私は三年分しか解いておらず全落ちしました。模試の判定はあてになりません。模試は復習するためにあるものです。

最後になりますが、「受験は団体戦」という言葉をよく耳にする機会が受験生の皆さんは増えてくることと思います。私は私大入試前までこの言葉が嫌で、個人の学力が高ければ受かると思っていました。でもそれは間違いで、受験は、不安な時電話で話を聞いてくれたり、私なら大丈夫と言って動画を送ってくれたり、手作りのお守りを渡してくれた友達、励ましの言葉をかけていただいた先生方、いつも支えてくれる家族がいるからできることです。感謝の気持ちを大切にしてください。皆さんが笑顔で受験を終えられますように願っています。

大学受験を振り返って

西南学院大学 商学部 商学科 Y・S

まず三年生になった四月から自分がどういう時間を過ごし、志望校合格までに至ったかを説明します。

自分は三年生になった時、学園大に特推で進学しようと思っていました。今だから言えるのですが、これは完全に受験勉強から逃げたいという不純な動機によるものでした。それからなんとなく時間が過ぎていき、最初の三者面談を迎えるのでした。この時、担任の先生からからも母親からも他の大学の一般入試を勧められました。自分にとって雑音とも言えるアドバイスです。ほとんど詳しいことは耳に入ってきて来ず、早く終わらないものかとばかり思っていました。そんな時なぜか唯一耳に入ってくる言葉があったのです。「受験勉強や受験を経験するだけでも財産だから！」この言葉を聞いてハッと思いました。今まで何となく過ごしてきた生活を変えなければならぬのではないか。ここで逃げれば、受験という壁を乗り越えた人間と自分に大きな差が生まれてしまうのではないか。そう思い、自分は、九月から本気を出し、五ヶ月の受験勉強を経て西南に無事合格。というのが大雑把ではありますが大きな流れです。

では本題です。受験に成功するために一番重要なことは「時間を大切にする」これに尽きると思います。「時間を無駄にしない」・「時間を有効活用する」ではなく、自分は「大切にする」という表現を使います。この意味するところは、時間の無駄をなくし、すき間時間を有効に活用し、な

お且つその勉強に充てた時間は濃密なものにする。というものです。試験の時、ダラダラ問題を解くことなどありませんよね。普段の勉強もそうです。本気の集中と全力の処理スピードでやって下さい。アウトプットの試験もインプットの試験対策も、目の前の問題を解いて点を取りに行く。目の前の知識、文字を頭に入れて点を取れるようにする。と考えれば根本は一緒です。自分が今月何点上がる勉強をしたのか、しっかりと見つめるようにして下さい。濃密な時間こそ勉強で一番大事です。

大学受験という壁を乗り越えて見えてくるのはやはり周囲の存在です。担任の先生の言葉がなければ自分の進学先、人生は大きく変わっていたと思います。先ほど書いた時間についての考え方も高校受験から大学受験までお世話になった塾の先生の言葉を自分なりに解釈したものです。合格した時自分と同じくらい喜んでくれた両親や友達も大切な存在です。このような大切な人達の存在は、自分が本当に努力して良い結果で終わった時にしか見えてこないものだと思います。だから、必死に頑張ってください。そして受験が終わったら、精一杯周りの人達に感謝して下さい。学付生が学園生活を樂しみつつ受験で成功することを祈っています。

努力を続けること

東京学芸大学 教育学部 初等教育教員養成課程 T・H

私が受験勉強を本格的に始めたのは最後の総体が終わり、それからもう少ししてからであった。私の受験勉強というのはピアノであったり小論文の練習をすることだった。夏休み前の三者面談で推薦入試を受けることに決めてからだ。推薦入試というものは国語や数学などといった普通の勉強とは違った勉強をしなくてはならない。他の受験生たちが勉強にぐつと力を入れ始める頃、普通の受験勉強に加え推薦入試の準備を進めなければならぬ。当然、推薦入試の準備に時間を取られる分、普通の受験勉強をする時間は短くなる。もし推薦を落ちたらそれまでの推薦入試に掛けてきた時間は無駄になってしまうかもしれない。メンタル面にもダメージは大きいだろう。推薦入試というものは、ある意味ギャンブルなのだ。私はもとから頭が良くなかったため、推薦で落ちたら後はないな：と思っていた。

夏に推薦入試を受けると決めてからは二種類の勉強を両立できるように努力した。私の推薦入試の科目にはピアノと声楽があった。ピアノなんて小学校以来弾いたことがなかった。ほぼゼロからのスタートだったのだ。朝は五時に起きてピアノの練習をした。昼休みは中学校の音楽室に行き、みっちりピアノと声楽の練習をした。週二回ピアノ教室にレッスンにも行った。これだけ毎日がつつりやっていると、どんどん上達していくのがわかった。が、その分疲れも出る。二種類の勉強の両立が難しくなる。だが、どちらの勉強にも手を緩め

ずやってこれたのは、私の中に強い意志と覚悟を絶えず持っていたからだ。私は受験勉強にはこの二つがとでも大切だと思う。強い意思があれば、どんなにきつい時でも、絶対受かってやる！という気持ちで乗り越えることができる。自分の中に一つの覚悟があれば、周りに流されず、自分が決めた道を途中で諦めたりせず突き進むことができるのだ。

私が受けた所は倍率も高く、周りからは、受からないだろうなどと言われていた。しかし私は受かってみせた。正直自分でも驚いたが、強い意志と覚悟があったから受かったのだと思う。

これから受験に挑んでいく後輩たちに、私からはいい勉強方法など格好いいことは伝えられないが、一つだけなら伝えることができる。「それは、志望校に受かるための強い意志と覚悟がある者には合格への道が開けるといふことだ。

自分を信じて頑張れ！

油断大敵

佐賀大学 理工学部 電気電子工学科 Y・T

私は無事自分の希望大学に合格することができたのだが、自分が想像していたような合格への道のりとは、ちよつと違うものだった。これから私の合格への道のりを成功談、失敗談を含めて紹介していこうと思う。

まず私は運動部に所属していて国体まで出場したため、本格的に勉強に取り組むことが出来たのは八月半ばであった。部活を引退して最初の模試では志望校の判定はほぼすべて全滅という厳しい現実を知ることとなった。逆転しかない。私はまず目標を立てることから始めた。受験勉強の中で目標を立てることは最も重要なことだと私は考えている。謙遜などせずなるべく大きな目標を立てるようにしてもらいたい。そうすれば毎日の勉強に緊張感が生まれるはずだ。目標が決まればすぐにその目標を達成するため、綿密に合格までの勉強のスケジュールをたてた。このようにこれからの長い受験勉強という戦いをどのように攻略するかの大まかな概要を立てておくことで、自分の道を見失わず、効率的に学力を上げていくことが出来ると私は思う。このようにして、絶望的だった私の学力も志望校の安全圏まであげることが出来た。ここまでは私の成功談だ。しかし、私は本番でとんでもないミスを犯してしまったのだ・

学力が上がり少し浮かっていた私は模試で度々マークミスを起こしていた。まあ本番でしなけりやいだらうと軽く考えていた。しかしセンター本番、ヤラカシタ。

数学の問題の選択ミスだった。今までの模試をもっと緊張感を持って受けていなかったことを強く後悔した。幸いにも私は運良く合格することが出来た。しかし、私はたったこの一つのミスにより、今までの長い努力を水の泡にしてしまうところだったのだ。悪いことは言わないので一つ一つの模試を本番と思つて全力で挑んでほしい。また、考えられるありとあらゆるミスを一度は想定しておくことをおすすめする。

今、全く学力が足りないからと言つて諦める必要はない。目標は高く！

チャンスをつかむ

熊本大学 工学部 グローバルリーダーコース K・S

私は「AO入試」という入試方式で合格しました。皆さんは「AO入試」について知っていますか？三年生の四月当初、私は全くといっていいほどその内容を知りませんでした。簡単に説明すると、AO入試とは、学科試験では測れない分野を大学独自の方法で自己アピールする入試です。ここでは勉強法などを書くのが一般的だと思いますが、あえて私がAO入試で感じたことを、三点に絞ってお話してみたいと思います。

まず一つ目。高校生活を充実させたものにしてほしい、ということです。「充実」と聞いて思い浮かべることは人それぞれでしょう。私がここで皆さんへおススメするのは「体験」です。時間に余裕のあるうちに様々な体験をして、視野を広げてください。私の場合、両親には本当に感謝しているのですが、一年生の時にイギリスへのホームステイと、台湾への修学旅行に行かせてもらい、いつもと視点を変えてみることで視野が広がりました。世界を感じることによって、考え方も変わりました。私がグローバルリーダーコースへ進むことを決めた一番のきっかけは、この海外での「体験」です。それともう一つ、できれば一、二年生のうちに英検などを「体験」してください。英語は大学受験にも関わってくるので、英検などの対策を早いうちしておくことにより、今後役に立つと思います。

次に二つ目。情報をより多く集める、ということです。私

が今回受験したグローバルリーダーコース入試のように新たな入試制度が始まるかもしれません。より多くの入試情報を得て、チャンス逃さないようにしてください。

そして三つ目。自分が行きたい大学や学部において、「体験」を通して得たことなどで、その大学のアドミッションポリシーに基づいて自己アピールすることができる場合、AO入試や推薦入試に積極的にチャレンジしてほしいということです。センター試験前の大事な時期に、確かに時間を取られるかもしれませんが、「やってやる！」という気持ちがあればそこまで時間を割かず済みます。それに、AO入試や推薦入試を受ける際、志望理由書を作成することで、自分ときちんと向き合い、将来本当にやりたいことが見えてくると思います。実際に私自身がそうでした。

もちろん、AO入試や推薦入試を受けるからと言って、勉強をおろそかにしてよいわけではないので、少々大変かもしれませんが。ただ、こういったチャンスもあるのだということを頭の隅にでも置いておいてください。そして、自分の今までやってきた全てを利用し、自分を信じて大学合格に向かって頑張ってください。

合格体験記

熊本大学 工学部 機械システム工学科 A・H

私が大学に合格できたのは得意な事や長所を活かしたからだと思う。自慢できるほど大した事ではないが、私は何でも楽しみながら一生懸命することを大切にしていた。経験や興味がない事でも、挑戦すれば新たな発見があったり、その経験が役に立つと思う。私は将来したい事が決まっていなかった為、様々な大学のオープンキャンパスやイベント、研修やボランティアに参加した。その事は志望校を決定する時や、志望理由書を書く時に役に立った。また、楽しみながら一生懸命する事で持続力をつける事ができた。勉強面では物理が好きだったので、物理は勉強するのが楽しいと思えたり、あまり苦になることなく勉強を続けることができた。そんな風にも他の教科ももう少し好きになっていたら、もっと勉強するのが楽しかったのかなとも思う。私が自分の長所だと思う事は、いつも笑顔でいる事だ。いつも笑顔でいると相手に好印象だし、緊張する場面でも笑顔でならいつも通りの自分であることができる。私の入試の面接には口頭試問があった。正直不安だったが、練習を一生懸命やった自信と笑顔で乗り切った。

私の三年生の生活は、八月の初めまで部活をしていた。その時は、部活が終わってから部活の集中力を勉強に向ければ何とかなると思っていた。でも紫紺祭が終わる推薦入試の書類を書き始めた時は、その添削や期限内に追われる上に、一般の受験勉強、しかも判定は上がらない、で結構きつかった。

でも友達と話したり面接の練習で先生と話したりして、楽しむ事は楽しんで目の前の事を一生懸命やれたから一杯一杯な中でも乗り越えることができた。最後の最後は、部活を八月までやり切ったことをデメリットではなく、努力が実って最後までやり切ったことの証明とすることが出来たので部活を後悔なく精一杯やれて良かったと思えた。

最後に感謝する事を忘れないことも大切だ。様々な体験や大学の情報を教えて下さったり、入試の前に沢山のアドバイスを下さったりした先生方や、生活を支えてくれた家族、きつい時にも一緒に話したり笑ったりした友達がいたからこそ大学合格という一つの目標を達成することができた。

七割の努力と三割の運

熊本大学 教育学部 特別支援教育教員養成課程 K・I

合格体験記を書いてくれと依頼を受けたが、正直何を後輩たちに伝えるべきかわからない。なんたって私はセンター試験で失 敗しているからだ。だが、そんな私だからこそ伝えられる私の受験勉強を振り返つての悪かった点と良かった点を簡潔にまとめるので参考になれば幸いだ。

まず悪かった点。こつこつやっていた点。これが全体的に影響を及ぼしている。何も勉強していないわけではなかったが、よく考えてみると、一・二年のときはやっていたつもりで満足している自分がいた。それに気づいたのは三年の夏。自分が人よりできるようになるためには他人の二倍、三倍と努力すべきなのにどの教科も基礎事項がしつかりと構築されていなかったために努力したくても思うように努力できなかつたという状態だった。だから、思い立ったら吉日という言葉があるように自分と向き 合った上で改善点が見つかったら即取り組むべきだと思う。とにかく今の自分に満足しないほしい。

次に良かった点。常に目標や目的を持っていた点だ。センター試験後、現役合格して特別支援教育を学びたいという気持ちには 揺らがなかつたため条件を満たした推薦Ⅱしか熊本大学に出願していない。また、思い切つて前期面接、後期小論文という方法を選び、ただひたすら特別支援教育について情報を集める40日にした。学校でみんなが科目試験の勉強をする中、私は図書室で一人黙々と本を読んだり放課後や休日

には実際に特別支援学校で働いてらっしゃる何人かの先生に話を聞いたりした。元々人と話すことが好きだったことに加え、目標や目的を持って過ごしたことで充実した三年間を送つたからこそ面接という受験方法が自分に有利に働いたと思う。

受験はやつぱり何が起きるかわからない。模試でA判定を取つたことがあつてもセンター試験で思うように力を発揮できずボーダーまで5%以上も足りないため受験校を変えるなんてことも起こりうる。しかし、チャンスが一回でもあるのなら、その一回をものにしようと思えるべき。これが七割の努力。そして志望校への強い気持ち。これが三割の運を味方につける秘訣だと思う。これまで色々述べてきたが、常に感謝の心を忘れないで欲しい。拙い私の文から何か得たものがあるなら幸いだ。悔いの残らない受験になりますよう。頑張れ！

自分なりのスタイルで

熊本大学 医学部 医学科 A・M

私は部活ではなく、学校外でバレエを続けてきた。三月に引退したので・本格的に受験勉強を始めたのは四月の終り頃だった。

私は塾には行かなかったのですが、塾がどんなことをしてくれるのかわからないが、学校での対策だけでも十分受験では戦っていけると思う。しかし、その場合には先生方に添削を頼むことをお勧めする。私は、数学と英語の添削してもらっていた。そうすることで質問もしやすく、希望の大学の傾向や自分の苦手な分野に合わせて、演習を効率良く行うことができる。

また、これは難しいことではあるが、志望校を早めに決めることで、最善の作戦を練ることができる。それは大学によつて、傾斜配点や受験科目、推薦入試の有無などは異なるため、きちんと調べて、充分な対策を行うことが大切だからだ。私自身、推薦入試を利用して、中学から志望していた大学に合格することができた。

さらに、自分なりに勉強しやすい環境を見つけることも必要だと思う。私は学校では自習室よりも教室で、家ではリビングで、というスタイルだった。また夜は、その日のうちに寝て、朝早めに登校し、自習時間を確保した。人それぞれ集中できる環境や時間帯は違うので焦らず自分のスタイルを貫くことも大切だと思う。

最後に、受験の一年は突っ走り続けられたらいいが、実際

それは難しい。中だるみするときも、もう嫌だと思ふときもある。そんな時は息抜きも大切！がつつり寝たり、体を動かしたり。

これから受験というみなさん。最後まで諦めず、自分に合ったスタイルで頑張つて！

部活動も頑張る受験生へ

北九州市立大学 地域創生学群 K・H

受験生の悩みの一つに部活動と受験勉強の両立が挙げられる。私はこの体験記を特に、部活動との両立を目指すあなたに読んでほしい。実際私も、七月の最後までポート部の現役で、このまま合格できるのか、とても不安だった。でもこの頃の自分に言いたい。

「部活動を言い訳にするな。」と。

この言葉を書ける理由は二つある。一つは、推薦入試やAO入試では部活動の成績が直結するということだ。自分の場合、推薦入試で個人面接と活動報告書が選考資料で、大会の結果は全て大学に提出した。今考えると個人面接で緊張して上手く答えられなかった私でも合格できたのは三年間の部活の頑張りが報われたからではないかと考える。もしこれを読むあなたが部活動など、誰にも負けない努力を積み重ねたものがあるのなら、推薦入試やAO入試に挑戦することをおすすめしたい。

二つめは、時間の使い方が上手くなるということだ。三年の総体後の受験勉強スタートは時間不足が否めない。でもだからこそ、朝や昼休みに自習室での勉強、休日も家で自分甘えることなく効率良く勉強をすることができた。これらの行動の原動力は、自分が部活動をしてない子よりスタート遅いという焦りだ。この焦りを上手く勉強のやる気に変えられたから、自然と成績も上がった。そして何より、志望校合格という目標達成への粘り強さを持つのは、部活動を頑張るあ

なたが一番だと私は信じている。

ここまでの抽象的な話を変え、もう少し具体的なアドバイスを二つほど。

一、まずは定期テスト。妥協は禁物。点にこだわろう。一週間のテスト勉強に頑張れない人が、一年間の受験勉強を頑張れるはずがない。

一、先生方に頼ろう。本番の面接で聞かれた質問は、大里先生が練習で出してくれた質問とほぼ同じで驚いた。本当に先生方のお陰で合格できたと思う。

色々書いたが結局、受験勉強と部活の両立は可能。ただこれだけをあなたに伝えたかった。

二兎追って二兎得よう！

私の大学受験

信州大学 経法学部 応用経済学科 M・S

私は国語が大の苦手でありこの文章もところどころおかしい部分もありますが、頑張って読んでください。

私が皆さんに伝えたいことは、大きく二つあります。一つ目は「友達の大切さ」です。私は塾に言い始めて合格するまで、また、学校ではセンター試験から前期試験までの間、このときに友達の大切さを改めて感じた。まず、私は受験勉強のほとんどを塾でした。ただ単純に集中出来るからだけでなく、友人の頑張っている姿を見ると、自分も頑張らなければ、負けたくないという気持ちが出てきて、さらに気が引き締まった。そして、塾までの道、帰り道そんな何気ない時間も息抜きにすら感じる事が出来た。もうひとつ、センター試験が終わってから、ただでさえ少なかった教室から合格者が多数出て、生徒の数が一気に減った。そのときに急に仲良くなつた友達もできまし、クラスで妙な団結力もできた。前期試験が終わった後、クラスの残ったメンバーでご飯にも行ったりした。そんなこともあり、受験に対する不安などを一人で抱え込むことはなかったし、受験のお土産話で盛り上がり、受験のことを忘れたことも、楽しかった思い出さえもたくさんある。このように、私は受験勉強をするうえで多くの友達に支えられていました。しかし、友達は時にライバルであることを忘れてはいけません。気を付けてください。

二つ目は、得意教科を持つことだ。最初に述べたとおり国語が本当に苦手でした。単語を覚えればできると言われた古

文、漢文は少しずつできるようなはなつたが、センター試験まで小説の成績は上がりませんでした。模擬試験で本気できて三点をとったぐらい苦手でした。よく苦手を教科を減らすことが大事だとか聞いたが、私はもう割り切つて得意な数学で良い成績をとり、苦手を教科の点数を「カバーするスタイル」でいこう、という非常にギャンブルな発想をしてしまいセンター試験の直前には少し不安になりました。しかし、そのぶん演習も重ね、センター試験当日も自信がわいてきて、私は文系だったので、最後の数学があるからと、他の教科も比較的落ち着いて解くことが出来た。皆さんも一つでもいいから得意教科を持つてみて、自分だけのスタイルをつくってみてはいかがですか。

最後に、なるようにしかならないので、マイナスに考えないようにして、すべてのことをプラスに考えれば結果もついてくると思います。皆さんが第一志望に合格するよう、悔いが残らないよう願っています。頑張ってください。

後輩たちに伝えたい三つのこと

大阪大学 医学部 保健学科看護学専攻 M・O

私が自分の受験勉強を振り返ってみて後輩達に伝えたいことが三つあります。

一つ目は目標設定は早めに行うことです。私が大阪大学を志望校に決めたのは一年生の時です。一年生の時からセンター試験が終わって願書を出すまで一度も志望校を変えたことはありません。大学受験は高校受験とは違い、大学や学部によってセンター試験の配点が科目ごとに異なり、また二次試験の科目も変わってきます。早めに目標を定めることで、自分の志望校に必要な勉強を効率良く行うことができます。

二つ目は量をこなすことです。よく「量より質」と言いますが正直なところ質の良い勉強を自分で見定めて勉強することとは難しいと思います。質の良さを求めて量をこなさないことの方がよっぽど恐ろしいことだと私は思います。質の良い勉強についてあれこれ考えるくらいなら、たくさんの問題に取り組み量をこなすことをお勧めします。私は二次試験が英語と数学と生物だったのですが、各教科過去問を二十五年分ほど解きました。量をこなしたことは自信にもつながるのですが、たくさん問題にあたりましよう。ただし、ただがむしやらの問題を解けばいいのではなく、復習することが大事です。

そして三つ目、特にこれが私が一番主張したいことなのですが、それは、一人で勉強しないことです。一人で勉強しないってどういうこと？受験勉強は一人でするものでしょ？と

皆さんは思ったかもしれせん。もちろん、受験勉強は自分と向き合いながら一人でするものです。一人で勉強しないのではなく、一人で勉強することはできないという方が正しいのかも知れ真せん。私はたくさんの人に支えられて合格を勝ち取ることが出来ました。生活面で支えてくれた両親をはじめ、熱心に添削指導をくださった先生方、そして何より一緒に頑張る友達存在は大きかったと思います。受験生と言ってもただの十七または十八歳です。ずっと集中し続けることなんて出来ないし、勉強したくない日だってあります。模試で思うような結果が出なくて涙を流すこともあります。当然、試験が近づけば不安やプレッシャーに押し潰されそうになります。そんな時、いつも私を支えてくれたのは友達でした。友達と一緒に夜遅くまで学校に残って勉強したり、時には息抜きと称してお喋りに興じたりしていました。辛い時、苦しい時、友達の励ましがあつたから私は最後まで頑張ることができました。受験を共にした仲間達に本当に感謝してもしきれません。皆さんも受験期だからと、独りよがりになることなく周りの人々を大事にして下さい。

これから受験勉強は大変だと思えますが、ベストを尽くして頑張ってください。

大学受験にむけて

広島大学 法学部 法学科 R・N

この合格体験記を書くにあたって、自分の一年間の受験生活を振り返ってみました。その中で特に大事だと思う三つのことを書こうと思います。皆さんのお役に立てれば幸いです。

まず一つ目に、メリハリをつけて勉強するべきだということです。部活を引退すると、それまで部活に費やしていた時間を勉強に使えるようになり、一日の中で勉強にあてる時間がそれ以前よりも大きく増えます。なので、適度に休憩を入れていく方が効率よく勉強していけると思います。勉強ばかりし続けていれば、辛いだろうし、やる気もなくなってしまうので、自分の好きなことをする時間を確保するというのはとても大切だと思います。また、睡眠をしっかりとることも大切です。ですが、息抜きばかりになってはいけません。勉強する時は、携帯やマンガなどを自分の手の届く範囲から遠ざけて、しっかり集中するようにして下さい。

次に二つ目は、授業や課外、模試などで解いた問題の復習を必ずするように心がけることです。自分が解けなかった問題を解いていく過程を見ることで、知らなかった知識を蓄えていくことができます。また、自分が解けた問題でも、正しい答えの導き方なのかどうかを確認し、なんとなくで解いていないかを確認することは大事なことです。問題をただ解いて答え合わせするだけでは自分の力にはなりません。復習して、解き直すことではじめてそこで得た知識を自分のものにでき

ます。また、新しい問題集や参考書に次々と手を出すよりも、同じものを何度も繰り返すことのほうが効果的だと思います。一周やっただけでは出来たつもりになっているだけで、自分のものにはできておらず、試験中に咄嗟に出てこないことが多いと思います。

三つ目は、先生の添削指導を受けるべきだということです。二次試験が記述式の場合、自分で明確に正解と不正解を見分けることが難しい問題が多く出てきます。そのような時に先生から客観的に見てもらうことで勉強不足な部分があつてきます。自分も二次試験の英語で英作文と要約があつたので実際に先生に添削をして頂いたのですが、自分ではよくできたと思っけていても、文法や訳の誤りや、言い回しの自然さなどがたくさんありました。このままでは合格のために必要なだけの点数はとれないと思い、毎日作文や要約を書いて提出していました。この添削指導のおかげで合格できたと言ってもいいくらいです。

一年間頑張ってください。応援しています。

優等生以外に向けて

広島大学 工学部 第二類 T・O

私はこの文章を、三年生になり今まで全然勉強をやつてこなかったことを後悔している人に向けて書きます。当てはまらない方はスルーしてください。

まず、私がどうしても伝えたいことがあります。それは、難関大学合格への可能性は誰にでもあるということです。私は三年生になるまで、ほとんど勉強という勉強をしていませんでした。もちろん選抜クラスなど全く縁がありませんでした。それでもこの一年間志望大学合格を目指し必死に勉強することで、三年生になった頃の自分の学力からは到底見合わない大学に合格できました。

次に、私が思う志望大学合格への一番の近道をお伝えしたいと思います。とても簡単なことなので短めに書きます。それは、普段の授業を一番前の席で聞くことです。これは僕が一年間実践し、身をもって体験したことなので間違いありません。最初は恥ずかしいかもしれませんが、勇気を出して席替えの時に一番前の席を希望してください。そして先生の目を見て授業を聞いてみてください。それだけでどんな優れた参考書をこなすよりもあなたの力を伸ばすことができます。

さらに、成績を伸ばすために私がしていたことは、自分より成績が上の人達「選抜クラス」に勝つことを常に念頭に置くことです。目標は高いほうが良いですし、同じ学校の人に負けていては全国から集まる受験生に勝てるわけがありません。ですが、これは周囲の人に口外しないことをお勧めしま

す。おそらく嫌われます。

最後に、これだけはやってはいけないという勉強法をお伝えします。それは独りになることです。自宅で勉強、後ろの席で内職などと独りで勉強する方法はたくさんあります。ですがそのどれもが自己満足であり非効率的なやりかたです。これについては全員を納得させるような確かな理由はわかりませんが、環境ができていないからだとは私は思います。家族、先生方、友人など多くの人の協力があつて勉強できる環境は作られています。そんな人たちを無視して勉強しても当然よい気持ちはしません。モヤモヤした気持ちで勉強に励んでもあまり集中はできません。合格発表の時に全員で喜ぶことができるような環境で勉強することをお勧めします。みんな合格の喜びを分かち合えた時は私にとって忘れられないものになりました。

来年の春に皆さんが、大学生として笑顔で入学式を迎えられることを願っています。

二次試験に向けて

九州大学 工学部 電気情報工学科 T・Y

自分は、特に頑張った二次試験対策と実際行っていた教科書の活用法をみなさんに伝えようと思います。

まず、二次対策の話ですが、自分がセンターよりも二次に力を入れた理由は二つあります。一つ目は、九州大学の配点がセンターより二次試験の方が大きいということ。二つ目は、自分がマーク模試よりも記述模試の方が成績が良かったということです。

次に、対策をする時にしていたことですが、言い方が悪くなるのですが、先生を利用する事が大事だと思います。先生方は、各教科のプロなので、質問に行ったら、必ずその問題を解くためのプロセスや行っている現象を分かりやすく説明してくれるはずです。また、その教科について先生方と討論したりすることも効果的だと思います。討論することで自分の見落としていた穴や先生方の意見を聞くことができるので、より深くその科目を理解することができはずです。

続いて教科書の活用法ですが、自分は参考書などは一切使わずに教科書を極めたほうがいいと思います。確かに参考書は教科書に書いてあるのを分かりやすく工夫がされていますが、基本的に書かれていることは教科書とほぼ同じです。しかも、参考書をたくさん買うとして、それを全て理解できるのならないのですが、そんな時間は現役生にとっては無いに等しいものだと思います。なので自分は「元々持っている教科書を何度も読み返す。」これが合格への近道だと思います。

す。

次に、教科書を読み返す時に意識した方がいいと思う所は基礎の部分です。センター試験の問題、二次試験の問題も難しい問題は、見る限り教科書を読み込んだだけでは解けないような気がすると思います。しかし、解答や解説を見れば分かると思いますが、意外と基礎的なことを聞かれていることが多いです。また、公式の導入の過程を理解していれば解ける問題も多いです。なので読み込むなら、公式の導入部分や基礎を意識的に詰め込むことが良いと思います。

大学受験は、とてもきつく辞めたいと思う時が必ずあると思いますが、合格した時の達成感は半端ないです。自分はセンター本番で人生初のE判定を取ってしまいました。しかし、周りの支えと、自分が最後まで諦めずに二次対策を頑張ったおかげで合格することができました。E判定からの逆転は、精神的にも肉体的にもかなりきついと思います。だけど、妥協してレベルを下げた大学に合格しても後悔しかなさと思うので、逆転した身である自分といたらセンターで失敗しても二次力を信じて頑張った方が、たとえ合格しなくてもそつちのほうがいいと思います。自分のこの体験記がどれほど伝わるかわかりませんが、みなさんの合格を期待しています。頑張ってください。

受験期を振り返って

九州大学 工学部 物質科学工学科 Y・N

志望大学を決めることはとても大切です。ですが僕は志望大学がなかなか決められませんでした。ここでは僕みたいに決められない人が勉強する際のポイントを三つ書きます。

一つ目は目標を定めることです。ここでの目標とは「○○大学○○学部に入る」と決めることだけではありません、実際僕は特に目標とする大学があったわけではなく、模試・センター試験の点数と自分の二次試験への自信で決めようと思っていました。僕の目標は学部学科について調べている時に興味をひかれた材料工学について学びたいということ、一人暮らしをしたいから親を納得させられる県外の大学に合格したいということでした。自分のやる気に繋がる目標を定めてそのために努力しました。

二つ目は毎日の授業に集中することです。授業に集中することで一日に6〜7時間勉強時間がとれます。先生方が丁寧に教えて下さる間に理解出来ればその後、発展問題を解くときの効率が上がりますし復習も楽になります。授業中に理解するのは難しいという人に僕のコツを紹介するとしたら、速さを意識することです。授業中に二回三回教科書を見直してとにかく頭に入れます。速さを求めれば必然的に集中しますし回数をこなせば記憶しやすいです。

三つ目は周りの人を意識することです。僕もそうでしたが受験期でも「勉強したくない」という気持ちは出てきません。そんな時には昼休みに自習室に行くクラスの人やホー

ムルーム後に急いで塾へ向かう人を見て、「自分もしなきゃ」と思い直し、なんならそのままついて行きましょう。逆に自分がやる気のある時は「クラスのリーダーは俺だ」くらい思っただけで皆を引っ張っていきましょう。受験は団体戦です。志望大学を決めることはとても重要で、早く決められれば、おのずとやる気が出て勉強時間も増えると思います。ただ、決まっていなくても頑張らないと結果はついてこないの、何とか頑張る理由を探さないと合格はみえてこないと思います。

合格が分かったときはとにかく嬉しいですね。皆さんにもこの気持ちを味わっていただきたい、皆さんが最後まで努力し続け、それが合格に結びつくことを願っています。

大学受験を終えて

九州大学 農学部 生物資源環境学科 S・K

大学受験を終えた今、この体験記を書くにあたって、私は受験勉強で大切だと感じたことを紹介したいと思います。

まず、私は塾に通っていなかったのですが、家で集中して勉強する習慣をつけることから始めました。家で勉強するのは当たり前のことですが、陸上部だった私は疲れて帰ったあとに集中して取り組むことができず、机に座ると速攻で寝ていました。そこで二年の後期あたりからは、朝の四時半くらいに起きて勉強するようにしました。始めたばかりの頃は早起きがきつかったけれど、継続していくと体が慣れて勉強の効率が上がりました。こうして、私は自分なりの勉強スタイルを確立することができました。

三年生になってからは、毎日英文文の添削を出すようになりました。私の受けた学部は英語の配点が高かったため、英語を自分の得点源にしたいと思ったからです。毎日添削をしてもらううちに、苦手だった文法も次第に定着していき、自信を付けることができました。実際に、試験本番でも得意になった英語に救われた部分が大きかったので、継続して良かったなと思います。

ただだと書いてしまいました。私が伝えたいのは、自分の目標を達成するためには、今の自分に足りないものを考え、計画・実行していくことは受験においてとても重要だということです。私はそれほど計画性のある方ではありませんでしたが、一年生でも二年生でも、始めるのが早すぎるとい

うことはないと思います。小さなことでも十分です。すぐに結果が現れないので、やりがいも薄れがちになると思いますが、「継続は力なり」ともいうように、その頑張りが報われる時が必ず来るはずですよ。

もう一つ私が皆さんに伝えたいことは、学符の先生方は生徒の目標を叶えるために、とても親身になって下さることで。私が合格することができたのも、忙しい中、添削や質問を快く受けて下さった先生方によるものが大きかったと思います。今振り返ってみると、一・二年生の頃は宿題や提出物を面倒だとばかり思っていました。確実にこなしていけば必ず自分の力になるのだと改めて実感しました。学符には、勉強も部活もうまく両立できる環境が整っているので、皆さんにはそれらを最大限に活用してほしいと思います。

こうして大事だと思ったことを書き出していくと、ごく当たり前のことばかりですが、その当たり前のことを継続するのが受験勉強だと私は思います。最初から効率の良い勉強などできません。色々な意見を取り入れながら、まずはがむしやりに頑張ってみて下さい。そして今しかない高校生活を楽しんで下さい。応援しています。

一年間ですること

九州工業大学 情報工学部

システム創成情報工学科 N・U

三年の六月頃まで私は大学に行く気はありませんでした。しかし、大学は行った方が良いと勧められたので、とりあえず友達と同じ大学を目指すことにしました。

それから始めたことは、単語を覚えることです。単語の意味が分からなければ古文や英文は読めません。私は電車通学でしたので、電車の中ではなるべく単語帳を開き、憶えることにしました。三年の初めまで古典と英語は三割近くだったので、伸びは大きかったです。また、点数が上がることで勉強に対するやる気も出てきました。

次にするようにしていた事は、毎月する席替えの時、毎回前の方の席を選ぶようにすることです。前の席は先生と距離が近いので質問がしやすいし、前の席を選んだからには寝てはいけないと思うようになり、より授業に集中できるようになります。もし寝てしまった時には、友達に起こしてもらうようにしていました。これはふざけ半分で授業中に寝ている友達を起こしていたことから始まったことですが、そのおかげで授業中はずっと寝ることはなくなり、先生の話もたくさん頭に入ってくるようになりました。得意な科目の授業は、ノートを取る事より先生の話聞くことを優先していました。その時先生の目を見て聞くことを意識すると、より集中して授業に取り組めます。

しかし、後悔している事もあります。それは、一・二年生

の時からコツコツと勉強してこなかった事です。そのころから単語の勉強だけでもやっていたら、三年になって他の勉強に時間を回すことができたと思います。それと、私は集中力が全然ありません。なので、勉強をしているとすぐに携帯を触ってしまいました。勉強と休憩をしつかり分けるべきだったと思います。

最後に、大学受験は二次試験まで何が起きるかわかりません。理系は二次試験で逆転が起こりやすいです。悔いの残らぬよう最後まで勉強を頑張ってください。

受験生への指南書

福岡教育大学 教育学部 初等教育教員養成課程 S・M

受験生の諸君、そろそろ観念して受験勉強を始めてはどうだろうか？確かに君たちはこれから部活や行事など最上級生として更に余裕がなくなってくるかもしれない。

だが、私はそんな今だからこそ君たちに勉強をする習慣をつけて欲しいと思うのだ。私自身、受験勉強を始めた時期が早くなかったので尚更君たちには早く始めて欲しいと思う。

私は三年生最初の模試で絶望した。浪人生が加わるから成績が落ちるとは聞いていたが、蓋を開けてみると半年前よりも偏差値が10も落ちていた。あれ、少しじゃないよね？と思いつつかなり焦った。そこから本格的に受験勉強を始めた。幸いなことに一年の時から塾に通っていた為、すんなりと入ることができた。今思うと塾で勉強をする習慣がなかったら私の受験は終わっていただろう。いや、何も塾に入れと言っているのではない。少しでも勉強に充てられる時間を探して欲しいのだ。家に帰ったら緑や青い鳥のようなトークアブリに時間を費やしていかないだろうか？はつきり言ってあれは罨である。しかも周りを巻き込むタチの悪い罨である。引つかかっている人はいないだろうか？私は引つかかった。君たちには強い意志を持って欲しい。引つかかっている人は自分がスマホを操作しているのではなく、スマホに自分の生活が操られていることに早く気が付いて欲しい。

さて、君たちはどれくらい復習をしているだろうか？もちろん予習も大切である。だが、復習には特に力を入れて欲

しい。私は七対三で復習に時間をかけた。一回で理解できるやつは宇宙人、二回で理解できるやつは天才、三回で理解できるやつは賢者、四回で理解できるやつは超人である。つまり、凡人である私たちはそれ以上に復習する必要がある。復習はやればやるほど成果が出るので嫌々言わず頑張つて欲しい。

最後に去年の自分に言うつもりでメッセージを贈る。受験で戦っているのは一人ではない。みんな戦っている。みんなもきついんだ。三年前、高校入試の合格発表のあの日、私はどんなに悔しい思いをしたか。絶対に繰り返してはならない。今が頑張りどころだ。気を抜くな。前を向け。進め。進め。明るい将来のため今がんばれ。

後輩のみなさんへ

福岡教育大学 教育学部 初等教育教員養成課程 N・M

無事に大学受験を終え、大学に合格することができた嬉しさと、なんだか少し悔しい気持ちがあるのが正直な気持ちです。私のこれまでの三年間を振り返って、後輩のみなさんに伝えたいことを書きます。

まず、自分の本当に行きたい大学を早めに決めて下さい。決める時は、沢山調べて下さい。私は、調べ不足で後で色々後悔しました。また決める時、今の自分の学力を見て無理だと決めつけなくて下さい。大学受験は、勉強量が多い人ほど、早い時期から本気で勉強を始めた人ほど、より上の大学に合格できる人が多いです。頭が悪いなんて関係ありません。どうか自分の力を信じて、早めに大学を決め、本気で勉強を始めて欲しいです。

次に、どんな時も自分が決めた大学に必ず合格するという強い気持ちを持ち続けて下さい。受験勉強をしていれば、誰だって苦しい時期がやってきます。私の場合、センター前は模試やセンター演習で思い通りの点数が取れず、何度も落ち込み、泣きそうになりました。でもその度に、「自分はあそこ合格するんだ。絶対負けたくない。」と思いつき直し、立ち直っていました。さらに、前期試験本番でも、私は二次は小論文だったので、試験の途中、「落ちたらどうしよう」という不安や恐怖から頭が真っ白になり、何も書けなくなっていました。その時も、一度自分を落ち着かせて「自分はこの大学に絶対合格するんだ。」と自分に言い聞かせまし

た。この強い気持ちが無かったら、私は合格できていなかったと思います。

そして、最後まで諦めないで下さい。私は、このことで少し後悔をしています。センター試験の後、私はそれまで志望していた大学ではなく、安全をとってランクを下げ、受験大学を決めました。しかし、いざ受験を終えてみると、合格したのはいいものの、私の周りには、私が元々志望していた大学に合格した人が多くいて、悔しい気持ちになりました。皆さんには、最後まで諦めず、後悔のない選択をして欲しいです。

最後に、私は元々精神的にたいへん弱く、常にマイナス思考で、高二の時には、勉強の不安やストレスから学校を休みがちになってしまっただけでした。それでも、合格することができたのは、私の話を聞いてくれた先生方や、支えてくれた家族や友達の話をして下さい。皆さんも辛い時は、先生や家族、友達に話をして下さい。きつとすっきりして、勉強を頑張る活力になるでしょう。

これから来る大学受験。後悔のないよう、精一杯頑張ってください。応援しています。

後輩の皆さんへ
佐賀大学 芸術地域デザイン学部

芸術地域デザイン・芸術表現学科 J・Y

私は学付での貴重な高校生活を受験勉強だけに費やすつもりは全くありませんでした。部活に打ち込む一方で、学力には自信がなく、受験は学力試験だけではない所を探しました。

私の志望は一年のときから美術系で、実技重視の推薦入試で入れる大学が結構ありました。中でも佐賀大は推薦試験が実技と面接だけで、実技の配点が高いという好条件でした。それに佐賀大には陸上部もあり、美術と陸上を両立させたい私にはとても魅力的な大学です。私は何としても合格したいと美術専門学校の受験対策講座を受講し、万全の準備をして推薦入試に臨みましたが、結果は不合格でした。

推薦に落ちた私はやむなく一般前期を受けることになりました。今度はセンター三科目と、やはり実技があります。推薦入試のずっと前から毎日実技の練習をしていたのですが、受験当日に体調を崩してしまい、合格の自信は全くありませんでした。

結果的に合格できたのですが、私を救ってくれたのはセンター三科目の、自分でも意外な高得点だったのではないかと今では思っています。実技重視の推薦を狙いながらも試験度胸のない私は、念のためコツコツと真面目に勉強もしておいたのがよかったのだと思います。学付の先生方の指導に感謝しています。

私は普通に一般入試で合格することができました。推薦入試は楽ではありませんが、合格は容易ではありません。自分の志望校に絶対合格したいと思うなら、推薦入試だけではなくそのあとの前期試験と後期試験のこともしっかりと頭にいられておくことが大事だと思います。それから、目標を立てることも大切です。私は二年にあがった時点で志望校を佐賀大一本にしぼり、何としても現役で合格するつもりで勉強しました。早くから準備しておけばそれほど合格の道は近づきます。

受験は辛いですが、目標を達成したときは言い表すことができないほどの喜びがあります。これから受験を控えている後輩の皆さんがいい結果を得ることを願っています。

大学受験を終えて

長崎大学 医学部 保健学科 看護学専攻 K・O

私のアドバイスが皆さんの役に立つかわかりませんが、いくつか記していこうと思います。

まず、私が一番大切にしていたことは、健康でいることです。受験勉強を継続していくことで知識は定着していきまです。ですが、頑張りすぎて体調を崩してしまうと元も子もないです。つまり、何が言いたいのかというと、適度な休息をとってほしいということです。心身ともに健康を保つことが受験生としての基礎を作ります。私は友達と勉強をしていたので、その勉強の合間にちよつとした休憩を入れていました。そこでの会話は世間話や進路相談などで、受験期の私にとって、とても心の休まる時間でした。皆さんも自分に合う休息の仕方を見つけてみてください。

次に、私は皆さんに課外や特演に積極的に参加してほしいです。三年生になって部活動の都合で夕課外に参加できない人がいると思います。その人は絶対、課外に参加している人から情報をもらってください。なぜこんなに参加してほしいのかというと、演習でやった問題が、実際のセンター試験で出題されたからです。先生方は受験のエキスパートです。本当に学校の授業だけでは演習の時間が足りません。先生方は毎年の試験の傾向を見て、出題されそうな類題をたくさん課外などで準備してください。自分の力で勉強していくのも大事ですが、先生方の手を借りることで、質の高い勉強ができると思います。ぜひ学校を最大限に利用してください。

そして最後に、進路の視野を広げてみて下さい。私はセンター試験に失敗し、目指していた大学を諦め、こちらの大学を受験し合格しました。後悔はしていません。悔しかったですが、看護の道を進んでいく上で、大学は一つの通過点であると考えていました。環境や教授が違えど医療系は、大体学部ことは同じ。それならば、自分が一番力を発揮できる試験で合格し学んでいくことが自分の将来の理想の姿に早く近づける、と考えました。これは個人の考えなので、あまり参考にしないほうがいいかもしれません。ですが、自分が将来どうなりたいか考えることは絶対にやってください。その通過点としての大学選択はとても重要です。今の皆さんにはたくさんの選択肢があります。大学調べを怠らず、自分の進むべき道を見つけ、悔いのない選択をして下さい。

三年生になると時間が加速したかのように過ぎていききました。勉強はキツくて苦しくて逃げたくありません。でもやった分だけ自分に結果として返ってくると実感しました。これから受験に向かっていく皆さんの健闘を祈ります！頑張ってください。

高校生に伝えたいこと

熊本大学 文学部 総合人間学科 H・H

私が高校生の皆さんに伝えたい、やっていた方がいいことは大きく分けて四つあります。

一つは基礎を大事にすることです。一見簡単そうですが、意外と難しいです。基礎がしっかりしていないと発展問題が解けないし、基礎の問題は大学の試験にしばしば出題されます。実際に熊本大学の試験には、中学生の時に習った古典の助動詞などがいくつか出題されました。私自身何問か解けずに悔しい思いをして、基本の大切さを学びました。

二つ目は苦手科目から逃げないことです。私はずっと理系科目が苦手で、勉強する時も自然と苦手科目を避けていました。しかし大学入試では色々な教科をまんべんなく解けなくてはいけないので、高校三年生になってから本格的に苦手科目克服に力を入れました。先生や友人に分からないところを質問したり、今までなら途中で解くことを諦めていたであろう問題にも、参考書などを使って自力で解いたりしました。

また、先生に添削をしていただいています。毎日問題を解いていたなら、少しずつ苦手意識も少なくなっていました。

三つ目は体調に気をつける事です。私は受験勉強中、勉強と同じくらい自分の体調に気をつけていました。高校2年生の中間テスト期間、私は「夜中が一番記憶力が高くなる」という情報を聞き、夜遅くまで勉強するようにしました。その結果テスト本番の日、体調を崩してテストを受ける事ができませんでした。それに、夜にうとうとしながら勉強したところ

ろは意外と覚えていません。体調が万全な状態でテストを受けるためにも、記憶をしっかり定着させるためにも、睡眠時間は多くとることをお勧めします。

四つ目は周りの友人たちと助けあうことです。奇麗事のよりに聞こえるかもしれませんが、実際に受験勉強を一人でするのはかなり厳しいです。私は何度も周りの友人、先生、家族などに助けられました。「受験勉強」というと、孤独で過酷なイメージを持つ人が多いと思います。確かにきつい時も苦しい時もありますが、私の場合はすごく苦痛というわけではありませんでした。精神的に苦しくなった時は話を聞き合ったりしましたし、昼休みのおしゃべりをしながら昼食を食べる時間はとても楽しかったです。

受験の実感がまだわからない人もいるかもしれませんが、また、不安に感じている人もいるかもしれませんが。私の場合、そういう時は大学のパンフレットを読んだり、大学生活を想像したりしていました。そうすることは、不安を解消し大学について知ることができただけでなく、自分の本当にやりたいことを考えるきっかけになりました。

高校生として過ごす時間は、思っているよりあっという間に過ぎていきます。自分の目標に向かって頑張りつつ、高校生活を楽しんでください。

受験をふりかえって

熊本大学 教育学部 小学校教員養成課程 R・O

私が受験を通して大事だと感じたことを書きたいと思います。この文章を皆さんの大学受験に少しでも役に立てていただければ嬉しいです。

まず、志望校だけでなく、少しでも受験する可能性のある大学についてもとことん調べてください。早ければ早いほどいいと思います。

次に、自分の苦手を知り、自分に合った勉強法を見つけてください。先生方が言われることはもちろん手を抜かずやってください。私は、塾には行かず、学校の宿題や定期テストもその場しのぎになっていたので、成績はどんどん下がっていききました。高校総体が終わった後は、某予備校の自習室に通い始め、学校以外はほとんどそこで勉強していました。とはいえ、テキストや授業があるわけではないので、今何をすべきかを常に自分で考えなければならず、自分がしていることが正しいのかいつも不安でした。しかし、振り返ってみると、自分の苦手を知ることができ、得意不得意に合わせて時間を有効活用できたのでよかったですと思っています。

そして、当たり前のことですが、最後まで絶対に諦めないでください。私は模試の判定はずっと悪く、本番直前のマーク模試でも目標点数には及ばず、今まで一度も納得のいく点数を取ったことがありませんでした。しかし、センター試験本番で自己最高点を取ることができました。まさか自分にこんなことが起こるなんて思ってたので信じられませんでした。

でしたが、私だけでなく、私の友達にも同じ経験をした子がいました。試験本番は何が起こるかわかりません。なので、皆さんも諦めず最後まで走り切ってください。途中で心が折れそうになることもたくさんあると思います。私はそんなとき、友だちと話して笑うことでストレス発散していました。最後に、もちろん受験勉強も大事ですが、学付での最後の高校生活も思いっきり楽しんでください。悔いのない充実した一年を過ごしてください。皆さんのこれからを陰ながら応援しています。

大学受験を終えて

大分大学 教育学部 学校教育教員養成過程 M・T

自分は文章を書くのがうまくないので読みにくい部分がたくさんあると思いますが許してください。

自分は受験勉強をする後輩にどのように勉強をすればいいかについて書きます。

まずセンター試験というのは900点満点です。そのうち200点教科は国語、数学、英語です。つまりこの3教科で得点できれば有利に受験を進められます。だから学校の先生方も一、二年生の間に固めておくとおっしゃるのはそういう理由です。また、国語と英語は語学なので得点上がるまでに時間がかかります。だから受験勉強を始める際には必ず英語、国語から順に始めることをお勧めします。ここでは特に英語、国語の勉強の仕方について細かく説明します。

まずは英語。英語はともかく英単語と長文を読みまくることが大切です。自分は最初は80点ほどでしたが最高で150点まで上げることができました。夏休みはひたすら長文を読んでもわからない部分に線を引いて単語を調べました。また、同じ長文を繰り返し読み返すと読むスピードが上がります。点数が上がるまでに時間がかかり投げ出しそうになるかもしれないですが諦めず食らいつけてください。英語は周りとの差が付きやすいので頑張ってください。

次に国語についてです。国語で得点しやすいい部分は古文、漢文です。古文単語と漢文の句形を覚えればかなり高得点できます。一問に対する配点が最も高いのでとくに力を入れて

やってください。私は寝る前に古文単語と句形を覚えて、朝確認していました。電車通学生は電車で携帯を触る時間を単語帳に変えてみてください。周りとの差をつけることができます。

次に生活面についての話をします。互いに配慮して生活することを心がけてください。

早めに進路が決まった人はまだ受験勉強している人のことを考えてください。自分たちのクラスでは早めに進路が決まった人が毎時間黒板を消してくれました。また、受験前日に応援メッセージ入りのお菓子を持ってきてくれた人もいました。受験は団体戦。学年全体で一体となって取り組みましょう。

最後に受験勉強をやりきってください。そのために必ずこれだけはやるぞ！ということを決めてください。私は課外が始まる前に学校に来て自習室で勉強するということを最後までやりきりました。やりきったのならば結果はどうであれ後悔をしないと思います。またそうやって頑張っているたくさんの方が応援してくれます。受験期にきついとき周りからの励ましはとても支えになります。

自分から最後に一言言わせてください。

“きついときこそ笑顔で！” 頑張れ後輩たち。

受験勉強を通して

鹿児島大学 工学部 化学生命工学科 A・N

この合格体験記を書くにあたり、受験生活を振り返ってみました。

私は、二年の五月頃から塾に通っていました。しかし、その頃は受験勉強を意識しておらず、学校の授業について行くので精一杯でした。私が受験勉強を始めたのは三年生の四月頃でした。その時は目標を高く設定していたのですが、変な自信があり、できないことばかり後回しにしていたように思います。そこで私は、「分らないことを、後でしようと思ってもやらず、次できない」と思いました。後でしようと思ってもやらず、次できないという事が続いたからです。

また、私が気をつけていた事は、睡眠をとることです。模試で悪い成績が続くと自然と焦り、睡眠時間が短くなっていました。すると、学校の夕課外がきつくなり、塾で勉強に集中できないくらいしんどくなって、とても悪循環になっていました。なので、私は最低でも五時間は寝ようと決めました。中には少ない睡眠時間でも大丈夫な人もいましたが、自分に合った方法で勉強するのが一番だと思いました。

センター試験に向けて、特に英語と化学が成績が悪かったので、意識的にしていました。英語は一・二年生の時に勉強をあまりしていなかったため、基本的な所からやり直しました。化学は覚えるのが苦手だったため、覚えていない所を正確に繰り返し覚えていきました。しかし、センター試験本番ではあまり結果が出せず、今までやってきた勉強は何だった

のかと思いました。判定結果が返ってくると、判定はE判定でした。この結果の原因は、最後まで集中力が続かなかったことと、ものすごく緊張してしまったことでした。二次試験では約八割を取らないと合格できないことがわかりました。なので、そこからは二次試験に向けてひたすら勉強するだけだと思いました。

二次試験に向けて、理科は物理の方が点が取れると分かったので、物理を選択しました。数学は記述の解答に慣れようと思い、学校での問題の予習復習をひたすらしました。英語は学校の復習をして、毎日長文を一つずつしていきました。物理は先生の話を聞いているだけで知らなかった所がどんどん出てきて驚きました。本番では、もうやりきるだけだと思い、緊張せずに受験することができました。結果は奇跡的に合格し、自分でもすごく驚きました。それに第一志望の学科だったので嬉しかったです。

私が皆さんに言える事は、受験は最後まで諦めないことが大事だという事です。国公立は二次試験まで諦めず勉強できるかおうかで決まると思います。継続していく事を決めてやり通すことも自分の自信に繋がるので、最後まで頑張つて下さい。

とことん術

神戸市立看護大学 看護学部 M・K

今から私の書く体験記は、完璧な成功例とはいえません。ただ、こんな受験生もいたんだと思つて読んでみてください。まず、受験に関することで私の三年間を総括してみます。看護師になりたいという気持ちは初めからあり、一年生の情報の授業で神戸の街に惹かれ、神戸に行きたいからという理由で神戸の大学を志望し、二年生から理選と呼ばれるクラスに入り、ひたすら神戸での生活を夢見て、三年生の夏まで吹奏楽部を続け、センター試験後は私立大学を一校も受けず、第一志望となった神戸市看護大(通称いちかん)を前期で受け、運よく合格し、進学。と、このようになります。

私が最も言いたいことは、「とことん」やり抜くことです。受験では、必死に頑張つてもなかなか上手くいかないことがあります。しかし、とことんやり抜いたのなら、たとえどんなに結果が悪くても後悔せずに、すっぱり方向転換の決断をすべきだと思います。

さて、ここからはセンター試験後のことを話したいと思います。私の場合、前述の決断の結果、二次試験を小論文と面接で勝負することにしました。しかし、決断はしたものの自分の文章を書く、自分の言葉を伝えるということの難しさに直面しました。それを乗り越えるには、自分の経験の幅を広げることが必要でした。ですが私たちは、普段受験勉強に打ち込まざるを得ず、色々な経験が出来ません。そこで私は読書量に賭けました。二次試験までの約一ヶ月間は、毎日朝か

ら学校に来て、ひたすら本や新聞を読み、文章を書き、先生方に添削していただき、担当の先生と面接練習を繰り返す日々でした。今は自分に小論文と面接なんて関係ないと思うかもしれませんが。私もその一人でした。しかし、本を読んだり、新聞を読んだりして、自分の視野を広げ経験を積むことは、いざ小論文となったときにもちろん活かせますし、最終的に要らなかつたとしても、自分の可能性を広げることが出来ます。各教科の問題文も文章です。しっかりと問題の裏にある出題者の思いを読み取り、出題者と対話することを楽しんでみてください。

自分の選択が正しかったのかどうかは、少し時間をおいてみてから分かってくるものだと思います。今はとにかく自分に正直に、悔いのないように進んでください。今から私もまた目標に向かって、とことん頑張ります。どうせやるなら楽しく！です。一緒に頑張りますよ！

受験勉強のより良い方法

熊本県立大学 環境共生学部 環境資源学科 K・F

世の中には二種類の人間しかない。

勉強ができる人間とそうでない人間だ。私は明らかに後者です。ともに勉強した覚えもなく、偶然中学受験に合格して入学することになった学付中。何気なく過ごすうちに高校生になり、あつという間に受験生になりました。高校一、二年の間は勉強せずに楽しく高校生活を送りたいという甘い考えを持っていた私は特進クラスを希望しませんでした。それが仇となり、三年生のクラスでは特進クラスを希望したのですが、入ることはできませんでした。ここで学んだのが、万全の状態を受験生になるために一、二年生でも意識を高く持つて生活しなくてはいけないということです。一、二年での成績や行いは受験で必ず必要な調査書でも重要になります。一、二年生の皆さん、油断しないでください。

中高でテスト勉強もほとんどしたことがなく、勉強とは何をすればいいのかもわからない受験生になってしまいました。しかし、そんな私が試してみても効果的だと思った勉強法があります。

まず、『授業に専念勉強』です。皆さんに授業をしている先生方は、その教科のプロです。それぞれの教科において皆さんの何倍もの知識を持っています。先生方が『授業』という限られた時間で話せるのは、多くの知識の中でも特に重要なものだけです。事実、授業に集中し、先生方から出される課題をやり遂げるだけで、県大レベルであれば十分競えるだ

けの学力は身に付きます。

次に『自力で解決勉強』です。わからないところは先生に聞く人は多いと思います。しかし、聞く前に無理やりにも自分で解決させる方が効果的です。まず、わからない箇所を自分で調べます。調べてもわからない人も類似の問題や定義を見つけ、無理にでも「きつと、こういうことだろう」と解決させて下さい。その後先生から正しい解釈を聞いて、自分の考えと合っていれば自信に繋がります、間違っていない自分ので深く考えたことで記憶に定着します。

最後、『仲間と励まし合う勉強』です。あれだけ早く終われと願っていた受験生活も終わってみれば良い思い出です。模試でうまくいなくても友達や先生方が懸命に支えてくれました。たまには息抜きに友達と食事に行きました。誰かが合格した報告を聞けばみんな喜び合い、自分が頑張るためのバネにもなりました。勉強ができない種類の人間である私が合格できたのも友達と励まし合っこの一年を過ごしてきたからです。受験生とは言いつつも、高校生活最後の一年です。みんなと一緒に過ごせる最後の一年が辛いだけの思い出にならないように、友達と一緒に楽しく受験生活を送ってください。

この春三年生になったみなさんへ

熊本県立大学 総合管理学部 総合管理学科 E・T

新三年生のみなさん、こんにちは。もう行きたい大学は決まっていますか？将来の自分を思い描くことが出来ますか？昨年四月、私はやりたいことも、大学に進学する意味さえ分かりませんでした。だから、この合格体験記は今回じように悩んでいるかもしれないあなたへ向けて書きたいと思っています。

私は建築士になるという夢がありました。理系科目をどうしても克服できず、文系に進みました。その選択は間違いではなかったけれど、新しくやりたいことは見つけれず、様々な事が学べるから、という理由で熊本県立大学の総合管理学部を志望校にしました。しかし、本当にこの学校でいいのかという迷いで心が定まらず、九月のAO入試は不合格に終わりました。もちろん落ち込み、友達のを心から喜ぶことができませんでした。でも、AO入試をきっかけに、県大の事を深く調べ、その魅力を知れたことは、「ここに行きたい！」という気持ちを確固たるものにしてくれたと思います。さらに、面接や志望理由書を書くにあたって自分にじっくりと向き合うことができ、公務員になって、今以上に県民が生き生きと幸せに暮らせる熊本にするという目標も見つけることが出来ました。志望校を決めるとき、最初はどんなきつかけでも理由でもいいと思います。興味を持ったら、その大学をじっくり調べてみてください。

また、受験の上で大切なことは、志望校と自分の学力との

「ギャップ」を知ることです。その差は一人ひとり違うので、勉強方法、勉強時間も当然変わってきます。私は、受験生はみんな、ひたすら勉強をしているものだと思っていたし、自分も自然とそうなるだろうと思っていました。でも、結局二年生の時と勉強スタイルは変わりませんでした。（勉強時間は少し長くなりましたが）勉強のやり方は強い意志がなければ変えられないし、今のスタイルが自分に合っているなら、そのやり方を貫いていいと思います。自分よりたくさん勉強している人を見ればあせるし、逆に勉強していない人を見れば流されそうになるかもしれません。しかし、それはそれぞれの志望校との間の「ギャップ」の差によるものだから、周りと見比べないで、常に自分の志望校合格という目標にそった勉強をしてください。

そして、あくまでも大学は目的ではなく、なりたい自分になるための手段です。どの大学にいても自分の行動次第でたくさんのことが得られると思います。でも、落ちてしまったときに悔む気持ちも本当です。だから、志望校が決まったのなら、自分を信じて突き進んでください。時はすぐに過ぎ去ります。どうか、一日一日をたいせつに。あなたが笑顔で次の春を迎えられることを願っています。

自分らしく

九州工業大学 工学部 総合システム工学科 K・N

私の壮絶な受験生活は後期試験の合格と共に幕を下ろしました。と言えば語弊になるので正確に言うと、合格発表で合格を確認した後、家族会議を経て九州工業大学（九工大）への進学を決心し、私の受験は終了しました。私の第一志望は前期で九州大学（九大）の工学部に合格することでした。従って、先に書いた家族会議は、浪人（再び勉強）して九大（またはそれ以上の大学）に挑戦するか、浪人せずに九工大へ進学するかを決めることがテーマでした。しかし、九工大への進学を決めた今、この合格体験記は不合格体験記として捉えてほしいです。

さて、ここまでは合格が決まってから体験記の依頼をされてすぐに書きましたが、ここからはこの体験記の提出期限が明日に迫った、九工大に入學してしばらく経った今書きまです。というのも、前期の不合格は私にとって思いの外打撃となり、受験生活でただでさえ精神的に不安だったのに、不合格でさらにショックは大きくなりました。しかも、気持ちが悪く落ち込んだまま後期試験を受けに行き、試験中も頭の中はぐちゃぐちゃでこれは後期試験もダメかもな、と思いながらの受験でした。しかし結果は合格でしたが、進学を決めてからも嬉しさや大学生活へのワクワク感はなく、この体験記もなかなか書き出せなかったのです。これから書くことは自分なりに自分の受験というものを考えてみたもので、多少文章は長くなりますがお許しください。

まず一つ言いたいのは、受験生活を過ごす上で自分を追い込みすぎないことです。もちろん受験において、ある程度自分を追い込むことは必要です。しかし、追い込み過ぎては自分の勉強の進捗状況がよく分からず、何をしているか分からなくなるということに陥るでしょう。受験勉強というのは、受験のための勉強、つまり受験には教科書の範囲しか問われず、ただ教科書を満遍なくやればよいということになります。そこで教科書を読み込んで、その内容を理解すればよいということになります。これは理系科目（特に数学、物理）では私はよくやりました。私は教科書の内容理解を徹底的に行い、わからないところがあれば自分なりに解釈できるまでとことん考えました。しかし私にはそれが落とし穴だったのかもしれない。私はこのやり方を自分流の勉強法として高校の間に確立しました。また、性格上プライドが高い方がかつ内向的なのであまり吸収したものを友達と話したりしてアウトプットせずに自分の中だけで勉強内容を咀嚼していったと思います。さらに私にはゴールが見えてきたら楽をするという悪癖がありました。私にとっての楽をするというのは、特に「演習をしない」、「暗記をしない」、「考えない」ということで、これらを後回しにすることで楽をします。そして後々自分の首を絞めることになり、定期テストや模試に影響するのです。また、基本ネガティブでメンタルも弱く、受験が近づくにつれ心も不安定になっていき、右に書いたもの全てが悪循環に働きはじめました。その結果、自分を追い込むことになり、受験を通してあまり周りの友達や先生とも話さなくなると、話す能力も低下し、自分の頭の中で

勉強内容をまとめたりするという以前はよくできていたことさえも苦手になっていきました。この結果、自分流の勉強法が機能しなくなり、自分が何をしたいのかよくわからなくなつていきました。そして、センター試験はなんとか乗り切つたものの、前期試験では失敗しました。また、私はこういう意味でも浪人をするのが私にとつて不可能だと思つたので

す。

ここで、「常に考えること」、「友人や先生、家族とよく話すこと」、「自分を見失わないこと」は必ず守つてほしい三か条だと考えます。というか、私の反省点ですが。一つ目の「常に考える」とは、自分の内向きの性格や特性も結局は自分しか知らないことなので、自分の勉強法と勉強内容、そして合格戦略も自分でよく考えることです。二つ目の「よく話す」とは自分の考えをまとめることにも繋がるし、リラックスマスや気分転換、三つ目の自己形成にも繋がります。三つ目の「自分を見失わない」とは、自分流を突き通してほしいということですが、もちろん時には他の人の意見も参考にしながら、自分の軸は持つておくべきだと思います。つまり、このように今私は偉そうに真面目に書いていますが、これはただの私の受験の感想であつて、あなたの受験は合格のため

にあなたらしくよく考えて作らなければなりません。ただ、さっきの三要素は私には必要なものだったということです。

本当は勉強というものは自主的に満足行くまでとことん自分で考えて追求するというものだと思いますので、受験勉強というものがどれだけ独特で大変なものなのか受験勉強を通して感じることでしょう。しかし、その受験勉強に対してど

れだけ自分流でつっこめるかが大切で、自分なりに攻略してみてください。自分を追い込まず、リラックスしながらその中に楽しさを見出せるとよりよいかもしれません。今私は大學生になつて半月ほどが経過しますが、第一志望の大学だともつと楽しいだろうな…！応援しています。

大学受験を経て

長崎大学 多文化社会学部 多文化社会学科 Y・M

大学受験を終えて、この一年間を振り返ってみると、長いようで短くとても濃いものでした。

まず、私が本気で志望校を考え始めたのは二年生になってからで、もともと英語や国際関係に興味がありそれが学べる大学を探し始め、絶対ここがいいって思ったのが長崎大学の多文化社会学部でした。ここを見つかるまでに国際関係を学べる大学の授業やシラバスをたくさん調べたり、比べたりとありえず頑張って探しました。大学についてはできるだけ多くの情報を得て自分にあつたものを見つかるのが大切だと思います。

次に、主に英語のことしか言えませんが、先ほど英語に興味があつたと言いましたが、興味があつただけで一、二年生の時は、文法も長文もできませんでした。謙遜とかでなく、一般動詞からよくわかっていませんでした。二年生の後半くらいから本格的に勉強し直しました。そして授業も真剣に取り組むようになりました。私もこれまで先輩の合格体験記などを読んで、授業が一番だよというのをなんども見ていましたが、いまいちピンと来ていませんでしたがこの時初めて自分で納得できました。授業の中ではよくでる構文やイデオムなどたくさん出てきて、大事なものはさらになんども繰り返し出てきて、正直ほとんど私は授業で覚えました。それくらい授業は大切です。また、初めのうちは国語、英語、数学をした方がいいとは思いますが。理科、社会は後半からでも間に

合います。私は十二月くらいに過去問を解き始めましたが間に合いました。他にもクラスでの雰囲気も大切で、私たちは、休み時間には一問一答やクイズなどしたり、昼休みは自習室に行ったりなどして時間を使っていました。

とりあえず、まず大事なのは情報を知っておくことです。知っているだけで自分に有利になることも多々ありますし、知らなかったでは間に合いません。自分の進路なので自分で調べ、情報は独り占めではなくみんなシェアしてもらいたいと思います。そして私は理系科目が苦手で、いうのもなんですが、できるだけ苦科目は他よりも勉強して無くしたい方が、選択肢の幅も広がるので自分の為になるので、少しづつ克服していつてもらえたらと思います。この一年が頑張りがきです、自分にあつたスタイルを見つけ志望校合格に向けてコツコツ頑張っていてください。

私が見なさんに伝えたいこと

熊本県立大学 総合管理学部 総合管理学科 F・S

受験とは、何が起こるか分からない。E判定が出ていた私が合格したのです。高い受験料を払ってくれる親に感謝し、払ってもらったからには最後まで受験して下さい。判定はあくまでも可能性です。悪い判定が出ようが受験するのは勝手です。最後まで目標を見失うことなく、がむしやりに頑張ってください。何かが起こるかもしれません。

と言っているにも関わらず、私は自分が熊本県立大学に合格することは正直諦めていました。センター試験が終わり、志望国公立大学の判定はほとんどがD判定やE判定。絶望でした。みなさんも模試の判定でこのような状況に直面するかもしれませんが。もしかしたら、私のように進路を決定する本当に大事な判定でドン底に突き落とされるかもしれません。でも、そこでめげてしまったり、勉強を辞めてしまうと、もちろんその先は見えてきません。私はすぐに切り替え、自分に足りないものや、今自分が伸ばすべきことを見つけ、そこを埋めることに努めました。一喜一憂している暇はありません。とにかく勉強をして下さい。きっと何かが起こります。

受験勉強を始めるにあたって、みなさんに心得てほしいことがあります。それは「受験は団体戦」ということです。よく聞く言葉ですね。私は大学受験を経験し、この言葉の意味を理解できたと思います。センター試験や前期試験、後期試験が近づくと沢山の人が応援のメッセージや電話、お菓子をくれたり、直接頑張れと言ってくれたりしました。私はこ

のように自分を支えてくれる人を喜ばせたい、恩返しをしたという気持ちから、絶対合格したいという思いが強くなり。頑張ることができました。家族や友達、私を指導して下さった先生方がいなかったら、私はこの受験生活を乗り越えることはできなかったと思います。受験勉強は、きついです。辛いです。大変です。でもそう感じた時は、ちよつとだけ周りを見渡して、自分を支えてくれる人たちを思い出してみて下さい。

嫌なこと、面倒くさいことから逃げず、鈍臭いことでもコツコツと毎日努力を積み重ねた人が、合格を勝ち取ることができると思います。そして、体調にもしつかり気遣って下さい。どんなに努力を重ねてきたとしても、試験本番に体調を崩してしまつたら、その努力は水の泡です。風邪でも念入りな対処を。

これで私の合格体験記を終わりにしたいと思います。拙い文章ですが、読んでくださり、ありがとうございます。みなさんが来年、合格を勝ち取ることを楽しみにしています。

粘り勝ち

熊本県立大学 総合管理学部 総合管理学科 K・K

前期試験不合格。自分に残されたのは、E判定の後期試験だけでした。でも私は諦めず、友人が前期試験で合格し、喜んでいる姿を見て、自分だって合格してやるという気持ちで学習に取り組みることができました。

まず、なぜ私がE判定を取ってしまったのかを話します。簡単に言うとセンター試験で思うような点を取ることができなかったからです。私は二年生の一月から塾に通っていました。しかし、当時部活をしていた私は、引退してから頑張ろうとしており、塾に通ったことだけで満足してしまっていました。その後、部活を引退し、本腰を入れて学習に取り組みましたが、単語や公式すら覚えてなく、基礎的なことから覚えていかなければならなかったのです。スタートの時点で周りに遅れを取っていたのです。なのでお願いがあります。この文章を読んだ今日からでも、もうちょい遊びたい、引退してから頑張ろう、そう思っているような人でも、毎日勉強する習慣をつけて下さい。特に国公立に行きたい人は、センター試験はとても大事な試験ですので、早く科ら学習に取り組んでも損はありません。

次に、個別試験である小論文についてです。私は学校で実施された小論文模試で後ろに十人もいないというくらいの順位を叩き出しました。しかし個別試験は小論文なので、しなければなりません。そこで私は学校の先生に小論文指導をしてもらいました。資料をくださったり、日本語を注意してく

ださったりなど、とても温かい指導をして下さいました。学校の先生はとても頼りになる存在です。小論文などの不慣れなことは先生に助けの手を求めることが大事です。

最後に、なぜE判定から逆転合格できたかという点と最後まで諦めなかったからです。私が後期試験を受けるにあたり、激励してくれた友人や先生方、家族のためにも合格しなければならぬという使命感のおかげで私は頑張ることができました。辛い時や、苦しい時、一緒に支え合えることができる友人の存在が私の中でとても大きかったです。この熊本学園大学付属高校という良い環境の下で、皆さんが着実に力を付け、笑顔になれる結果を掴めることを願っています。

諦めなかった自分

国立病院機構熊本医療センター附属看護学校 S・M

私は、基本的に自分に甘い。今までも、たくさんのことを言い訳をつけては妥協してきた。勉強においても、目標が見つからないまま、平均点くらい取ればいいや、と思いつつテスト等をこなしていた。対外模試においては、実力を確かめる為とか言いつつもノー勉で臨んでいた。結果は言わずもがな、全ての大学においてDかEの判定。それに焦り一つ感じなかったあの頃の私はすごいと思う。

二年になっても、部活があるから・・・と疎かにしていた勉強。

今まで勉強を^{ないがしろ}蔑にしていた事の重大さに気付いたのは二年の半ばだった。夏休みに参加した看護学生体験で行きたいと思う学校を見つけた時だった。模試での合格判定、E判定。自分のバカさと甘さを突きつけられた感じだった、必死にやらなきゃ間に合わないと思っただけで分かっていながらも、諦めグセはなかなか抜けなかった。

三年になり、志望校に指定校推薦があることを知った。「これだ！」と思った。正直、「これだったら行けるじゃん」とまで思った。

だが、またまた考えの甘かった私。なんとこれには、もれなく通知表の評定平均値の条件と、同じ学校を目指すライバルが付いてくるのだ。今までなানাあだだった私がそんな上しいこといくはずがなく、早速評定平均値の壁にぶつかった。なんとしても上げなければと授業も寝ずに受け(当たり前)中

間テストは死ぬ気で勉強した。このテストで受験の可否が決まるという勢いで勉強した。この一週間位は精神的にも体力的にも地獄のようだった。睡眠時間は二〜三時間に収め、とにかく勉強に充てた。こんなに勉強したのはいつぶりか・・・初めてかと思う位に。そのおかげで自己最高順位だった。評定平均値の壁はクリアした。だがライバルの壁は最後まで消えなかった。推薦者が発表されるまで今までの二年間を後悔し続け不安でいっぱいだった。だが最後の努力が実ったのか、運が良かったのか(前者だと思いたい)選ばれることが出来た。

今回の受験で学んだこと、得たものは多くあった。その中でも、特に、自分の目標を明確にし、最後の最後まで、一杯の努力をすることの大切さを皆さんにも憶えてほしい。そして自分が頑張れる裏側にはたくさんの方の支えがあるから、感謝を忘れずに最後まで頑張る。

ありがとうございました。

これからかな♪

九州中央リハビリテーション学院作業療法学科 C・I

周りの受験生とは比べ物にならないほど受験勉強をしなかった自分が、合格体験記を書くなんて思ってもいかなかった。なぜ自分が…という気持ちでいっぱい、提出期限ギリギリで書いているのが現状だ。受験において特別これをした、というのがないので受験について振り返ってみようと思う。

自分が受験について振り返ってみると、たくさんの人に感謝しないとけないと思う。まずは、親が専門学校に行くのを許可してくれたことだ。小さい頃から医療関係の仕事に就きたいという思いがあったが、自分は理系科目が救いようのないぐらいに苦手だった。しかし専門学校の入試は文系の自分でも受けることができる。ただ一つネックなのは学費だ。学費がべらぼうに高い。ネットで見たときに驚いた。しかし父親は、学費は気にしないでいいと、母親は自分の好きなことをすればいいと言ってくれた。両親の言葉がなければ、自分の進路に悩んでいただろう。

そして先生方だ。自己推薦文や志望動機の添削や、中身の無い自分の推薦文や内申書を書いていただいた。自分が自己推薦文を書くより、先生の方が大変なのではないかと思う。また、わざわざ放課後の時間を削って面接指導も行ってくださった。また、合格が決まって高一のときの担任だった先生に入試がどうだったか聞かれた。二年も前の、しかもモブキヤラみたいな生徒だったにも関わらず、だ。先生にとってはただのコミュニケーションの一環だったかも知れないが、自

分のことを聞いてもらったのはとても嬉しかった。

自分の入試を振り返れば、たくさんの人に支えられていた。この他にも、塾の先生や友達など感謝すべき人はたくさんいる。自分の場合、大変なのは入試よりこれからだろう。専門学校に合格したのが終わりではなく、自分の夢を叶えるための始だと思う。最後にかっこつけたが、これから死ぬ気で勉強して国家試験に合格することで少しでも恩返しができるのではないだろうか。

自分の進む道信じて

九州電力株式会社 M・S

私は当初、大学に進学しようと思っていました。しかし、自分が学びたいと思う学部や学科がはっきりせず、目標が定まらないまま、漠然と勉強する日が続きました。

そのような中、就職という道を真剣に考えるようになったのは、高校二年生の冬でした。初めは公務員試験を第一に考えていました。しかし、先生方や家族に相談したり、様々な情報を収集したりする中で、少しずつ企業に対する関心が芽生え、「入社したい」という気持ちが強くなっていきま

た。採用試験に向けて、学校で使っていた参考書を活用しながら勉強を進めました。また、新聞やニュースもチェックするようにしました。その他、面接に関しては、先生方に相談したところ親身になって相談に乗ってください、面接の指導をしていただきました。練習当初は、自分の考えを言葉で伝えることが難しく、多くの指導を受けました。自分の思いや考えを相手に分かりやすく伝えることの難しさを痛感しました。そこで私は、自分で質問を考え、その回答を紙に書き出す練習を何度も繰り返し返しました。すると、徐々に自分の思いや考えをまとめ、伝えることができるようになっていくことに気がきました。

試験当日は、大変緊張し、不安だらけでしたが、自分の思いや考えを書き続けたノートを持参し、読み返すことで、自然と気持ちが落ち着き、自信をもって試験に臨むことができ

ました。面接では、自分の思いや考えを伝えることができ、自分のもっているものを全て出し切ることができました。

私が、採用試験を経験するにあたって、大切だと思ったことが二つあります。

一つ目は挨拶です。挨拶は、習慣です。自分の身に付いていないことは、咄嗟にできません。また、挨拶は、第一印象に大きく関わってきます。相手に対して気持ちのよい挨拶をすることが大切であり、よりよい人間関係を築く上での第一歩であることに気がきました。

二つ目は、ニュースを見たり、新聞や本を読んだりして、日本や世界の動向を知り、様々な情報を自分なりに整理し、理解することです。世の中の動向に関心をもつことが自分成長させてくれたと思います。

この二つに関しては、意識するだけですぐ行動に移すことができますと思います。

先輩の皆さん、進路に関しては、たくさん選択肢があると思います。よく考え、先生方や家族に相談してください、そして、自分が信じた進路に自信をもって第一歩を踏み出してください。応援しています。

編集後記

映画大好きの進路部長からラーメン大好きの進路部長に代わり、この編集後記もラーメン屋放浪記に替えていいかなとも思ったが、編集の依頼を受けたのは前進路部長からだったので、拙い鑑賞経験ながらも今年も映画の話をしたと思う。

到底受け入れ難い他人の言動に接し、やりきれない思いをしたときにいつもケースを開けるDVDは「冬の華」（一九七八・東映・高倉健）。東映が一世を風靡した任侠映画路線に自ら別れを告げる「挽歌」のような映画、というのがどこかに書いてあった評だが、言い得て妙だと思う。

平安末期の物語文学が中期の隆盛期に比して退廃的であったように、この映画も日本映画の斜陽、その最も「サンセット」であった時代に作られたこともあり、いわゆる東映の屋台骨たり得た時代の「任侠物」とは一線を画す、一風風変わりな映画である。物語の要素所にクロード・チャリのギターやチャイコフスキーのピアノ・コンチェルトが流れ、そしてシャガールの絵画に耽溺する登場人物さえも登場し、そうした芸術色を背景に緩やかに物語は進行する。

しかし何と言ってもこの映画はやはり主演の高倉健がいい。どんなに時代が変わろうと、許せないものは許せない――不器用ながらも自分の信念を貫く男の背中に会いいために私は幾度となくこの映画を見返してしまう。

志望校に向けて、苦吟しながらも努力を重ねる受験生もまた、そうした自らの信念に貫かれた、一本「気」の通った存在に私には見える。どんな模試の判定を受けようとも、どんな現実を突きつけられようとも、易きに流れ、日和る世の風潮に背を向けて、ひたすら自らの信じる道を進む。

その姿は彼ら／彼女らの若さと相まって、この上なく美しく見える。

「若い」という字は、「苦しい」という字の一面を、ほんの少し左に曲げただけ、とは誰の言葉だったか。

そしてそういう受験生の姿を見て、私はつくづくと思い出すのだ。そういう人間の姿にいつも接していたくて、この仕事を志したのだ、ということ。

(二〇一七・四・一八 森森森)